(必ずお読みください)

保証とアフターサービス

保証について

■ **この商品は保証書付きです。**

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

■ **保証期間は、お買い上げの日から1年間です。**

ただし,冷凍サイクル・冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ **保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を供給します。

補修用性能部品の保有期間について

■ **冷蔵庫の補修用性能部品(特定フロンを含む)の最低保有期間は、製造打切後9年です。**

この期間は、通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスでお困りの場合は

お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での、日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

庫内の食品温度のはかり方

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。

しかし、庫内の食品は、8割前後が水分であるために比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。

従って、一般の空気温度をはかる温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。

そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す<冷蔵庫用温度計>を発売しています。ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、一般のアルコール温度計で庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mLの水を入れた容器を置き、感温部を3時間ほど浸しておくと、食品に近い温度が得られます。

- 冷蔵庫用温度計の測定値は、扉開閉頻度、外気温、設置場所、庫内の冷気対流、冷凍機の運転・停止などの影響を受けて変化しますので、冷蔵庫用温度計の取扱説明書をよく読んでお使いください。

愛情点検

● **長年ご使用の冷蔵庫の点検を!**

こんな現象はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

形名	
購入店名	
	電話 (　　)
購入年月日	年　月　日

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

R-8T4 Ⓐ

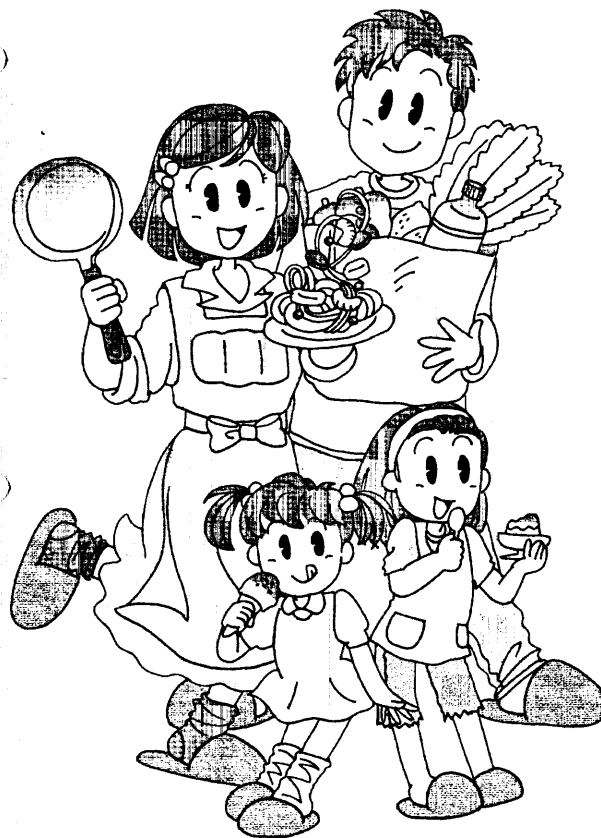
R-8T4

HITACHI

日立冷凍冷蔵庫

取扱説明書

形名

R-8T4形

もくじ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書・ご相談窓口一覧表と共に大切に保存してください。

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠警告と⚠注意の意味は次の通りです。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、傷害または家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があるもの。

●本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

図記号	意味
(!)	「必ずしてほしい行為」を表します。
(電源プラグ)	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
(アース)	必ずアース線を接続してください。
(禁止)	「禁止」を表します。
(分解禁止)	分解しないでください。
(接触禁止)	触れないでください。
(ぬれ手禁止)	ぬれた手で触れないでください。
(水ぬれ禁止)	水をかけないでください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

⚠警告

● **定格15A以上のコンセントを単独で使用する**

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して火災の原因になります。

単独で使用する

● **電源プラグの刃及び刃の取り付け面に ほこりが付着している場合は よくふき取る**

ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。

清潔にする

● **電源は交流100V専用コンセントを使用する**

100V以外では、感電・発火の原因になります。

100V専用コンセントを使用する

● **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く**

感電することがあります。

電源プラグを抜く

● **電源プラグは コードが下向きになるように差し込む**

逆に差し込むと、コードに無理がかかり、感電・ショート・発火の原因になります。

コードを下向きにする

● **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

⚠警告

● **電源コードや電源プラグが傷んでいたり コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**

感電・ショート・発火の原因になります。

禁 止

● **庫内灯を交換するときは 交換する前に電源プラグをコンセントから抜く**

感電することがあります。

電源プラグを抜く

● **異常時(こげ臭いなど)は 電源プラグを抜き運転を中止する**

異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜く

● **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**

電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

禁 止

● **電源コードを冷蔵庫の脚や家具などで踏まない**

感電・火災の原因になります。

禁 止

● **電源プラグを抜くときは 電源コードを持たずに 先端の電源プラグを持って引き抜く**

コードを持って抜くと感電・ショート・発火の原因になります。

電源プラグを持つ

● **長期間ご使用にならないときは 電源プラグをコンセントから抜く**

絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

電源プラグを抜く

● **引火しやすいものは入れない**

爆発する危険があります。

禁 止

● **地震などによる冷蔵庫の転倒防止の処置をする**

振動により冷蔵庫が転倒し、けがの原因になります。
(詳しくは ☞ 7ページ)

転倒防止をする

● **テーブルの上に水を入れた容器を置かない**

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

● **テーブルには 不安定なものを置いたり ひさし部分に重量をかけない**

ドアの開閉で落下し、けがをすることがあります。

禁 止

安全のため

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

● **電源コードを傷付けたり 加工したり 無理に曲げたり 引張ったり ねじったり たばねたりしない**

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

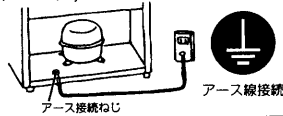
● **水をかけない**

電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

● **アースを確実に取り付ける**

アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。
（詳しくは ☞ 7ページ）

アース線接続

● **冷蔵庫を廃棄処分するときは ドアパッキングをはずす また 幼児が遊ぶ場所に放置しない**

幼児が閉じ込められると危険です。

パッキングをはずす

● **ガス漏れに気づいたら 冷蔵庫やコンセントに触れずに ガスの元栓を閉めて換気する**

引火爆発し、火災ややけどの原因になります。

換気をする

● **分解・修理・改造は絶対にしない**

感電・火災・けがなどの原因になります。分解・修理が必要なときは、販売店にご相談ください。

分解禁止

● **可燃性スプレーを近くで使わない**

引火する危険があります。

禁止

● **ドアにぶらさがったり よりかかったりしない**

冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をはさんだりしてけがをすることがあります。

禁止

● **医薬品や学術資料は入れない**

家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

禁止

● **湿気の多いところや 水がかかるところに据え付けない**

絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

水ぬれ禁止

⚠注意

● **冷凍室内の食品や容器（特に金属製）には ぬれた手で触れない**

凍傷の原因になります。

接触禁止

● **据え付け時や お手入れをした後に 蒸発皿が正しく取り付けられているかを確認する**

正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

蒸発皿を確認する

● **冷凍室にビン類を入れない**

中身が凍って割れ、けがの原因になります。

禁止

● **床が丈夫で水平なところに据え付ける**

不安定な所に据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れけがの原因になります。
（詳しくは ☞ 7ページ）

水平に据え付ける

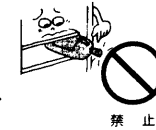
● **食品を棚より前に出さない**

食品を棚より前に出すと、ドアが閉まらなくなったり、ドアポケットに入れたビンなどを割り、けがの原因になります。

禁止

● **冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない**

高温ですので、やけどやけがの原因になります。

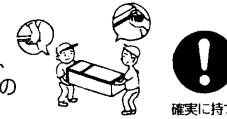
接触禁止

● **冷蔵庫を運搬するときはテーブル後部と下部調節脚を持つ**

ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。

確実に持つ

● **冷蔵庫の底面に手を入れない**

冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

接触禁止

● **小物ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない**

落下してけがの原因になります。

禁止

● **異臭がしたり変色した食品は食べない**

腐敗により、病気の原因になることがあります。

禁止

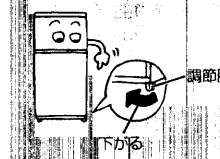
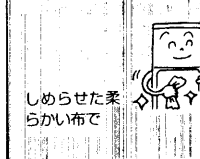
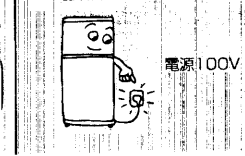
使いはじめ

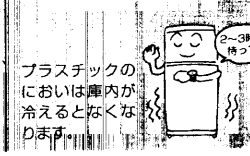
1 水平に据え付ける

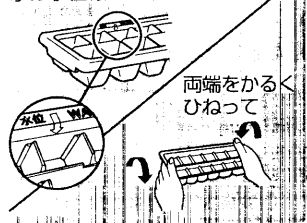
2 庫内を清掃する

しめらせた柔らかい布で

3 専用コンセントに接続する

電源100V

4 じゅうぶん冷えてから食品を入れる

プラスチックのにおいは庫内が冷えるとなくなります。

食品の貯蔵場所と名称

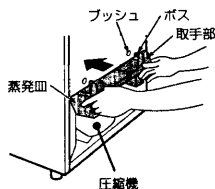
(下の写真は貯蔵場所に適した食品配置の一例です)

● 温度は、周囲温度30℃、温度調節ダイヤルを「3」にして、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの値です。

※製品は改良のため写真と相違することがあります。

お願い

蒸発皿の取り付け方について

取り付けるときは、圧縮機上部のブッシュに蒸発皿取手部のボスを差し込み、蒸発皿の取手部が冷蔵庫本体に当たるまで押し込んでください。

ブッシュ　ボス　取手部　蒸発皿　圧縮機

テーブルについて

● テーブル表面が100℃を越えるような熱器具(オーブントースターなど)は載せないでください。表面が溶けたり、割れたりします。

15kg位まで

製氷皿から氷を取り出すとき

● 製氷皿の両端をかるくひねってください。
● 製氷皿は、図のような方向に折り曲げないでください。
割れることがあります。

据え付けるとき

万一の地震にそなえて

● テーブル背面の中央に冷蔵庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。

別売品
部品番号：R-826CV-300
標準価格：870円(税別)×1個使用
(平成10年6月現在)

周囲にすき間を

● 図のようにすき間をとってください。すき間をあけませんと、放熱が悪くなり、電気代が増えたり、壁材が変色したり汚れたりします。
● 蒸発皿が壁に触れますと、振動音が発生することがありますので、壁から離してください。

上部 30cm以上
背面部 10cm以上
2cm以上 (左右とも)

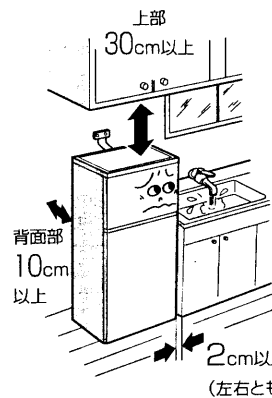
⚠警告

● **電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない**
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

熱気・湿気の少ないところに

● 直射日光やガスレンジなどの熱影響を受けますと、冷却力が悪くなったりします。
● 湿気の多いところや水がかかったりしますと、絶縁が悪くなったり、さびたりします。

床が丈夫で水平なところに

● 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させます。
不安定な据え付けは、騒音や振動の原因になります。
● じゅうたん・畳などの場合は、下側全面にしっかりした板を敷いてください。
冷蔵庫の底の熱による床の変色も防げます。

⚠注意

● **床が丈夫で水平なところに据え付ける**
不安定なところに据え付けますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。

移動するときは

● 必ず電源プラグを抜いてください。
● 食品を取り出し、蒸発皿の水を捨ててください。
● 運搬するときは、前脚部とテーブル後部を持ってください。

転居などで運搬するとき

● 横積みしないでください。
圧縮機の故障の原因になります。
● 50-60Hz(ヘルツ)共用です。

⚠注意

● **冷蔵庫を運搬するときは、テーブル後部と前脚部を持つ**
ほかの部分を持つと、手がすべって、けがの原因になります。

アース線の接続について

● 感電防止のため、土間・洗い場の床・地下室など湿気や水気のある場所に据え付ける場合は、必ずアースをしてください。
● コンセントにアース端子がある場合
アース線(付属していません)を使い、背面下部の(アース接続ねじ)に接続してください。
● コンセントにアース端子がない場合
お買い上げの販売店または電気工事店に依頼し、アース工事(D種接地工事 有料)をしてください。

次のようなところに接続しないでください。
● 水道管　● ガス管(爆発・引火の危険)
● 電話線のアースや避雷針(落雷のとき危険)

⚠警告

● **アースを確実に取り付ける**
アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。

別売品：アース線(2.5m)
部品番号：NW−60R6　52
標準価格：300円(税別)
(平成10年6月現在)

漏電しゃ断器について

水気の多いところ(魚店・豆腐店など常時床面に水気のあるところ)に据え付ける場合は、アースのほかに漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

温度調節

■通常は『3～5』の位置でお使いください。

下表を目安に、季節や用途に応じて〈温度調節ダイヤル〉を調節してください。

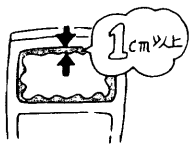
目盛 夏	目盛 春秋	目盛 冬	冷凍室温度	冷蔵室温度	使い方
霜取					●冷却運転を停止するとき ●冷凍室の霜取りをするとき
1	2	3	約−12～−15℃	約6～9℃	●食品が少ないとき ●冷えすぎたり、凍結するとき
3	4	5	約−15～−18℃	約3～7℃	●通常
5	6	7	約−18～−20℃	約0～3℃	●食品が多いとき ●もっと冷やしたいとき
強冷					●氷をつくるとき ●食品を早く冷やしたいとき

●表の温度は周囲温度、ドア開閉、食品の入れ具合によって変化します。
●表の温度は、周囲温度（夏：30℃、春秋20℃、冬15℃）で、食品を入れずにドアを閉じ、安定したとき、庫内ほぼ中央下よりで測定した値です。

お願い
●ダイヤルの目盛を"強冷"に合わせた時は"冷蔵室"の自動霜取りは行われなくなります。また、この目盛では強力に冷えますので長く運転しますと庫内は冷えすぎます。ご用がすみましたら元の目盛に戻してください。
●温度調節ダイヤルを「霜取」に、あるいは電源プラグを抜いて運転を停止させた時は、5分以上間をおいて運転を開始させてください。すぐに運転を開始すると冷凍機の運転がうまく行われません。

霜取りのしかた

■ 冷却器がプラスチック内箱の裏側にあるため、内箱表面に多量の霜（1cm以上）がつきますと冷却力が低下します。早目に霜取りを行ってください。

冷凍室

● 霜が少ないときや、やわらかい霜のときは付属の「霜取り用ヘラ」を使って取り除いてください。冷却運転を止めずに霜取りができます。
● 氷状の霜のとき
（1）食品および製氷皿、冷凍室中たなを取り出した後、温度調節ダイヤルを「霜取」にして冷凍室ドアをあけてください。
（2）霜がとけて冷凍室底部にたまります。このたまった氷や水を付属の「霜取り用ヘラ」または布で取り除いてください。（お湯やヘアドライヤーなどで加熱しないでください。内箱表面が変形することがあります）
（3）霜取りが終了したらダイヤルは元の位置に必ず戻してください。（自然式霜取りのため周囲温度等により多少霜取り時間が長くなることがあります）

冷蔵室

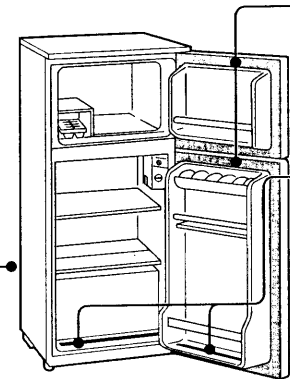
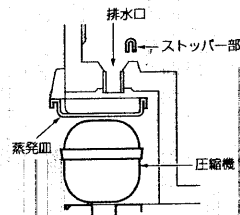
● 冷蔵室の霜取りは自動的に行います。除霜水は後部にある蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
● ドアの開閉の多いときや、周囲温度が高いときには、圧縮機が運転しつづけ、一時的に霜が多くなることがありますが、霜は自然にとれます。

お願い
●冷凍室表面はプラスチックで傷がつきやすく、霜や凍りついた容器、食品などを取るときは先のとがった棒や、ナイフ、ドライバーなどの金属は絶対に使用しないでください。内箱表面や冷却器に穴があき、冷え具合が悪くなったりガスが逃げて冷却作用がなくなります。

お手入れのしかた

■月に1回はお手入れを。

お手入れのポイント

排水口・蒸発皿
●半年に1回程度掃除します。水あかやほこりがたまると、排水や蒸発がしにくくなります。
●食品の収納はストッパー部までとして排水口部には載せないでください。（食品が排水口部に載りますと、水たれや、凍結の原因になります。）

ドアパッキング
汚れやすいところです。下側もよくふきます。

汁受け
汚れや汁がたまったら、ふき取ります。

部品
取りはずしできる部品は、水洗いしてもさしつかえありません。

⚠注意
●**冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない**
高温ですので、やけどやけがの原因になります。
●**お手入れのあとは 蒸発皿を正しく取り付ける**
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。

お手入れの方法

1. 電源プラグを必ず抜きます。
2. 布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてふきます。中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
3. お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
4. 蒸発皿が正しく取り付けられていることを確認します。
5. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

お願い
●電源プラグを抜き、次に差し込むときは、7分以上間をおいてください。すぐに差し込むと機械に無理がかかります。
●食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、錆たり変色することがあります。
●食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。

●**化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
●**次のものは使用しないでください。塗装面や部品を傷めます。**
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。
特に、アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤は、プラスチックの表面を黄変させたり、プラスチックが割れることもあります。
●市販の袋入り寒冷剤（硝酸、尿素含む）は入れないでください。中身が漏れたり、白い粉が出るとさびの原因になります。

⚠警告
●**お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く また ぬれた手で抜き差ししない**
感電することがあります。
●**電源プラグの刃及び刃の取り付け面に ほこりが付着している場合は よくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
●**電源コードや電源プラグが傷んでいたり コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
●**水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

⚠注意
●**冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

●もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき
- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 温度調節ダイヤルが"霜取"になっていませんか？
- 停電ではありませんか？

冷蔵室で食品が凍結するとき
- 温度調節が適正になっていますか？
- 周囲の温度が5℃以下になっていませんか？
- 水分の多い食品を、棚の奥に入れていませんか？

床面や庫内に水がたまるとき
- 蒸発皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが食品に当たって半開きになっていませんか？

よく冷えないとき
- 温度調節が適正になっていますか？
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？

庫内のにおいが気になるとき
- においの強い食品を、ラップをしないで入れていませんか？

音がうるさいとき
- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 蒸発皿が壁などに当たっていませんか？
- 蒸発皿がはずれていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音などがする
これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、きしみ音のすることがありますが、これは冷却器の周辺材料が収縮・膨張をするために発生する音です。

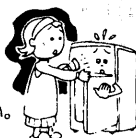
ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる
庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

外側やテーブルに露が付く
周囲の湿度が高いとき、外側に露の付くことがあります。また、テーブルの上にジャーやレンジなどを置くとテーブルに露がつくことがあります。これはコップに冷たい水を注いだときにまわりに水滴がつくのと同じです。乾いた布でふき取ってください。

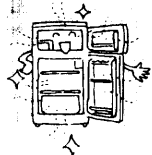
冷蔵庫の前面や背面が熱く感じる
露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているためで、食品の貯蔵には影響ありません。

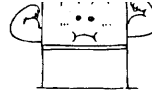
■ 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときには…

停電したときは
- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。

庫内灯を交換するときは
- **交換する前に、必ず電源プラグを抜いてください。**
- 庫内灯は形名をご指定のうえ、販売店にご相談ください。

⚠警告
- **庫内灯を交換するときは 交換する前に電源プラグをコンセントから抜く**
感電することがあります。

長期間使わないとき
- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、**2〜3日間ドアを開けて乾燥させてください。**

塗装面に傷がついたときは
放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。
(簡単な処置方法)
- **小さな傷は、シールをはる。**
- **大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。**
(さびは紙やすりで落としてから)

仕様/消費電力量について/冷凍室の性能

仕様

形名	R-8T4	
種類	冷凍冷蔵庫	
定格内容積	80L(冷凍室25L、冷蔵室55L)	
外形寸法	幅435mm×奥行498mm×高さ955mm	
定格電圧	100V	
定格周波数	50—60Hz共用	
電動機の定格消費電力	50Hz	81W
	60Hz	81W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	5W
	60Hz	5W
消費電力量	冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。	
質量	26kg	

部品	
棚（うち：ガラス棚）	2（1）
製氷皿	1
蒸発皿	1
野菜ケース	1
冷凍室中棚	1
霜取り用ヘラ	1

- 「定格内容積」は、日本工業規格(JIS C9607)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。

冷蔵庫の消費電力量について

■ 冷蔵庫の消費電力量は、日本工業規格（JIS C9801）に定められた方法で測定された値で、年間の消費電力量および年平均1ヶ月あたりの消費電力量を示しています。

■ 消費電力量の試験条件

周囲温度と湿度	温度調節装置による庫内の設定温度	扉開閉回数	消費電力量の算出方法
25℃ 70±5%	冷蔵室　5℃以下 冷凍室　−18℃以下	冷蔵室25回/日 冷凍室　8回/日	W_{25}×365日 = 年間消費電力量(kWh/年) $\frac{W_{25}×365日}{12}$ = 月間消費電力量(kWh/月)

- W_{25}：周囲温度25℃における1日当りの消費電力量
- なお消費電力量は、冷蔵庫の据付場所、周囲の温度や湿度、扉の開閉数、食品の貯蔵量などにより変化します。

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は✱***(フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。
- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節ダイヤルを調節して、試験を行います。
- 冷蔵庫の据え付け場所の温度は15〜30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室定格内容積100L当たり4.5kg以上の食品を24時間以内で−18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	✱*** フォースター	** ツースター
冷凍負荷温度(食品温度)	−18℃以下	−12℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月	約1カ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。